

# 住民の方から見た応援隊

～都路町でよりあい処「華」を開店～

震災前から、築百年以上の実家を使って近隣住民のために「何か」できないかと考えていました。そんな時に震災が起き、避難を余儀なくされ、精神的にもすごく落ち込みました。しかし、これからの都路を考えた時に、都路に戻ってきた地域住民同士がつながることができる場所として実家を活用できないだろうかという気持ちが出てきました。自分たちだけではどうにもできず悩んでいたそんな時に応援隊を知ったこの古民家再生への気持ちを話し、さまざまなお手伝いをしていただきました。応援隊にはボランティアを集めてもらい、仕分けや棚・床拭きを手伝っていただいたおかげで作業が進んでいきました。

6月には住民が気軽に集まることができるようになりました。我が家に戻ってきたような、雰囲気にしていけるように頑張っています。応援隊の皆さん、ありがとうございました。



いま いずみ ひさよ  
今泉 富代 さん(都路町)

26年4月に都路町へ戻り生活再開

## 地域の交流の場 よりあい処「華」

6月1日に都路町古道字新町67番地にオープンしたよりあい処「華」。食事や手芸を楽しめる店として、都路に住む方や都路を訪れる方など、多くの方でにぎわっています。月・水・金曜日には1日限定15食で出されているランチも好評です。

今泉富代さんは「気軽に集まって話をしたり、ご飯を食べたり、お茶を飲んだりする憩いの場所になりました。足を運んでください」と笑顔で話します。



開店準備を手伝ってくれたボランティアの皆さんと

# ボランティアから見た田村

～田村市にはボランティア活動で2回訪問～



もろ おか みき  
師岡 美喜 さん(千葉県出身)

東邦大学薬学部2年

私が田村市と関わるようになって学んだことは、第一に人の温かみ、第二に人に会うことの大切さです。

初めて田村を訪れた時、ある仮設住宅にお邪魔しました。皆さんとても温かく接してくださいました。お別れの際、私はさまざまなお別れが込み上げて泣いてしまった覚えがあります。さまざまなお話もし、東京に居ては知ることができないことを知れて、人と会うことの大切さも学びました。

また田村で作業するようになり、ボランティアに対する考え方も変わりました。実際来てみると分からないことがあり、今後とも都路の復興を見届けていきたいです。今では田村に行くことが楽しみになっています。



各戸を訪問して話を伺います

## 住民の声を聴く

地域活性の主役である住民の声を幅広く聴くため、各戸訪問や座談会を開催します。

## 生活支援

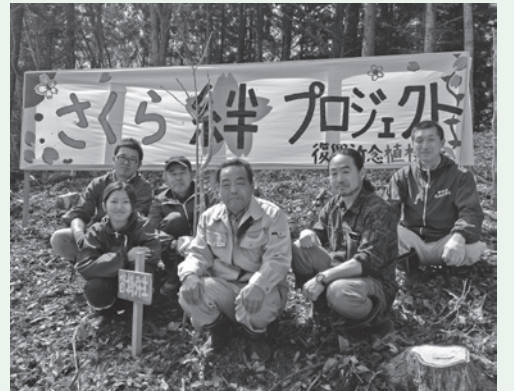
ボランティアを募集し、住民と交流しながら作業をお手伝いします。



農業再開のため電気柵を設置

## 実現を サポート

地域のための新たな取組みをサポートします。これまでも県内外から多数のボランティアが訪れ、支援してくれました。



山の斜面へサクラ植樹をお手伝い



地域の祭りをお手伝い

## 愛すべき田村像

故郷に笑顔と誇りが満ちていく……。あなたにとっての愛すべき「田村像」はどのようなものですか？

## 情報発信

田村の魅力を知ってもらうため、また、実際に体験しにくいようなことを広く発信します。



東京都渋谷で報告会